



「必要なのは、知ること。想像すること。」
—戦争体験者（国立市在住）のこぼり

毎年6月21日は
「くにたち平和の日」

アンネ・フランクの形見のバラ
～アンネのバラが咲くくにたちから平和を～

6月21日(土)

FSXホール

(くにたち市民芸術小ホール)
お申込は、電話・メール・申込フォームで

参加費 無料
申込 先着順

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話

- ◆10時～広島原爆のお話
- ◆11時～東京大空襲のお話

場所: スタジオ(地下)
※1講話は約35分です。



▲国立市HP 伝承者講話
▲申込フォーム

映画 『アンネ・フランクと旅する日記』

◆13時30分～15時30分

場所: ホール

嵐の夜、オランダ・アムステルダム博物館に保管されているオリジナル版「アンネの日記」からひとりの少女が現れる。彼女は、アンネの“空想の友だち”キティー。キティーは、紡がれることのなかった日記の「その先」を求め、未来へと希望をつないでいく。



英語版 (日本語字幕)

2021年カンヌ国際映画祭アウト・オブ・コンペティション出品

▲申込フォーム
<https://logoform.jp/f/wToQ6>

令和7年度 くにたち平和の日

「不思議だわ。これほど人間の邪悪な面を見てきても、今なお心の底で私は信じてる。人間の本质は『善』なのだ」と



映画に込められた思いを、ぜひご覧ください。



▲<特別映像> 製作の裏側を公開
▲アンネ・フランク基金 イヴ・クーゲルマン氏 日本との特別インタビュー

「アンネの日記」とは？
第二次世界大戦下、アンネ・フランクが「空想の友達」キティー宛に綴っていた日記。ナチスから身を潜めていた隠れ家での生活や初恋などを書き連ねた。アンネは収容所で亡くなり、生き延びた父オットー氏によって戦後出版され不朽の名作となりました。

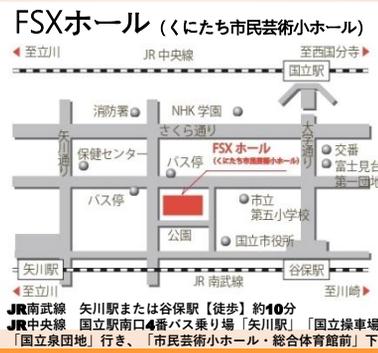
パネル等展示

場所: FSXホール ロビー (9時～16時)

- ◎戦争体験アーカイブパネル
- ◎東京大空襲体験絵本パネル 「またあしたあそぼうね」
- ◎「戦争と一橋生」(協力:一橋いしぶみの会)
- ◎アンネ・フランク関連図書(協力:中央図書館)



「アンネ・フランクと旅する日記」
原案:「アンネの日記」(ユネスコ「世界記憶遺産」2009年登録)
協力:アンネ・フランク基金/監督・脚本:アリ・フォルマン
2021年/英語/99分/配給:ハビネットファントム・スタジオ
原題:Where is Anne Frank ©ANNE FRANK FONDS BASEL, SWITZERLAND
「またあしたあそぼうね」
文:山下ますみ/絵:ささきみお/出版:新日本出版社



【申込/問合せ】国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
電話: 042-576-2111 (内線229・256) / ファクス: 042-576-0264
メール: sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

主催: 国立市